

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 2 年 2 月 18 日

事業所名 あ・りとる

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切である	7	0	0	仕切りをつくって、空間を分ける配慮をしている	
	2 職員の配置数は適切である	7	0	0	利用者が多い日は臨時職員を配置している	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の 配慮が適切になされている	4	3	0		玄関に段差ある。 必要に応じてスロープを 出せる
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目 標設定と振り返り)に、広く職員が参画してい る	4	3	0	参考資料をみんなで回覧している	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりア ンケート調査を実施して保護者等の意向等 を把握し、業務改善につなげている	7	0	0	保護者の意見を参考に改善している 回覧して業務改善につなげている	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホ ームページ等で公開している	3	4	0		今年度開設事業所で、 今回が初めての公開
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげている	0	4	3		外部評価は行って いないが、業務改善は 意識して実施している
8 職員の資質の向上を行うために、研修の機 会を確保している	4	3	0	積極的に研修会に参加している 個人的にいろいろな資料を読んでいる	研修参加できていないが 、業務中にアドバイス している	
適切な支 援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成している	7	0	0	全員のアセスメント、計画、個別面談を 実施している 回覧計画やアセスメントで読み、子どもと 保護者のニーズ、課題達成に向けて取り 組んでいる	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために 、標準化されたアセスメントツールを使用し ている	4	3	0	子どもの行動を見て危険回避の 対策を講じている	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	3	4	0	日々の行動プログラムを職員間で 話し合っている	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫して いる	5	2	0	周期的なプログラムでもマンネリ化 しないように工夫している	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援している	7	0	0	1日のスケジュールを決めて、 それにより参加している	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活 動を適宜組み合わせ放課後等デイサービ ス計画を作成している	6	1	0	個人に合わせて計画作成している。 子どもの体調等に合わせて状況に応じた 対応をしています	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われる支援の内容や役割分担に ついて確認している	4	3	0	子どもに合わせて分担している	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし 、その日行われた支援の振り返りを行い、気 付いた点等を共有している	2	5	0	注意点について話し合っている	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを 徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	0	0		
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デ イサービス計画の見直しの必要性を判断して いる	7	0	0			
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み 合わせて支援を行っている	6	1	0			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7	0	0		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7	0	0	学校単位で話し合っている	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1	6	0		現時点で受け入れがありません
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	1	6	0	必要に応じて情報確認をさせて頂いています ケース会議が開催される場合、参加している	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	3	4	0		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	4	0		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	6	1	0	公園などで地域の子と遊ぶことがある 近くの公園で遊具などで一緒に遊んでいる 特定の時間を設けて交流することはないが、公園などで近所の子どもと遊ぶ機会がある。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	3	4	0	放課後等デイサービス連絡協議会へ参加している	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	0	0	迎えにきた保護者にその日の様子を伝えている 送り迎えの際、保護者の方に当日の出来事やその際の対応をその都度しつかり行っている 連絡帳等で様子を伝えている	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	4	1			

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	2	0	毎回、説明をさせて頂いております	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	1	0	悩み等一緒に考えさせて頂いております	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	6	1	保護者会はないが、親子のつどいを開き、連携、親睦を深めている	(学校も違うので)保護者同士の連携はあまりないかもしれない
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7	0	0	苦情対応マニュアルを策定し、苦情に対して迅速に対応できる体制を整えているとともに、業務をより良く出来るよう努めている	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	1	0	月に1回、通信を発行している	
	35	個人情報に十分注意している	7	0	0		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	1	0	子どもに対してスケジュール表を掲示するなど対応をしている。保護者の方々は口頭および連絡帳によるやりとりを行っている 迎えに来る保護者の方に伝えている	
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		5	2	招待などはないが、普段より公園で地域の子供達と一緒に遊んだりしている		
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4	3	0		周知、訓練に努めていきたい
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	1	5	1		
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	2	4	1	虐待防止研修会に参加経験のあるスタッフを配置している	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	1	6	0		現時点で対象者いない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	4	0		医師指示書はもらっていないが、保護者に対して聞き取りを行っている
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	1	0	ヒヤリハットおよび事故報告書は日報と兼用して、スタッフに周知、共有している	